

船橋で見られるセミ

2005.7.31 作成：伊藤邦夫

参考資料
 ■千葉県の自然誌：千葉県史料研究財団（H14）
 ■原色日本昆虫図鑑（下）：保育社
 ■セミ・バッタ：保育社

セミの種類	大きさ	成虫の現れる期間										鳴き方	セミのいる場所	生活史	補 足
		6		7		8		9		10					
		下	上	下	上	下	上	下	上	下	上				
アブラ セミ	32~40 翅端まで 53~60		●	●	●	●	●	●	●	●		シ・シ… シリ・シリ・シリ… 午前中と 午後3時~夕方鳴く。 真昼は あまり鳴かない。	もっとも普通に見られる。 平地・市街地の樹木。山林。 ナシなどの果樹園で 大発生する時がある。	産卵は枯れ枝や 幹の厚い樹皮にする。 卵で越冬。 卵~羽化5~6年 (北隆館) 卵~羽化6~7年 (保育社:仙台の飼育例)	孵化は6~7月の梅雨に時期。枝や幹 から地面に落ち、すぐに地中に入り、 木の根を見つけて汁を吸う。 地中で4~6年幼虫として過ごす。 土の中も安全ではなく、モグラ・アリ・ ハサミムシなどに食べられる。 羽化が近づくと地上に出る穴を あらかじめ掘っておき、暗くなって 安全を確かめて地上に出る。 羽化後、成熟するまでに約一週間 かかる。寿命は飼育下では18日前後、 野外では天敵も多くこれより短い。
ミンミン セミ	31~36 翅端まで 57~63			●	●	●	●	●	●	●		ミン・ ミン・ミン・ミー 早朝(5時前)から鳴く。	東京以北では平地に普通、 西南日本では 低山地の湿った林に生息し、 平地にいない。	卵で越冬。 卵~羽化7年 (仙台の飼育例)	1980年代から市街地でも 鳴声を良く聞くようになった。
ニイニイ セミ	20~26 翅端まで 32~40	●	●	●	●	●	●	●	●	●		チー----- または シー-----ニイ--- 一日中、 くもりも雨の日も。	市街地および 山地にも分布。 ナシなどの果樹園で 大発生する時がある。 サクラ・マツの木に よく止まる。	幼虫で越冬(土の中)	卵期間は1~2か月、 8~9月に孵化して土中に入り、 約4年で成虫になる。 羽化場所は樹の下のほうに多い。
ヒグラシ	♂32~40、 ♀23~28 翅端まで 41~50	●	●	●	●	●	●	●	●	●		カナ・カナ・カナ… 早朝と夕方および くもりの時に鳴く。 暗い林では 一日中鳴く。	東京以北では平地、 関西以西では低山地で スギ・ヒノキなど 湿った針葉樹林に多い	幼虫で越冬(土の中)	
ツクツク ボウシ	♂28~33、 ♀26~32 翅端まで 40~47			●	●	●	●	●	●	●		ツクツクポーシ・ ツクツクポーシ… …ツクリョーシ・ ツクリョーシ 一日中鳴くが 夕方特によく鳴く。	平地から低山地の林に普通、 市街地も生息する。	卵で越冬	
クマセミ	♂43~48、 翅端まで 60~64 ♀40~44 翅端まで 63~68			(●	●	●	●	●	●	●)	シャア・シャア… あるいは ワシ・ワシ・ワシ… 午前中に鳴く。 くもりや雨の日は 午後も。	千葉県以西 平地や市街地の樹木にも 見られる。 センダン・アオギリ・ポプラ などにくる。	卵で越冬	1970年頃までは、 西からの移動固体が鳴いていたが、 最近では定着していると思われる。 (都内では確認済み)